

令和8年3月
環境省
茨城県
神栖市

地下水の飲用自粛について

～ 木崎、田畑、大野原、大野原中央及び息栖地区の皆様へ ～

神栖市における有機ヒ素化合物問題につきましては、日頃から御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成15年3月に有機ヒ素化合物であるジフェニルアルシン酸（以下「DPAA」という。）等による地下水汚染が発見され、これまでに、地下水浄化対策などを行い、現在は、環境省による地下水のモニタリングを継続しています。

裏面地図に示した範囲内（飲用自粛区域）においては、地下水位などの影響により濃度の変動はありますが現在もDPAA等が検出されている場所が点在しております。

そのため、地下水の飲用を自粛し、水道水又は市販のボトルウォーター等のご利用をお願いいたします。また、上水道に加入されていない方におかれましては、可能な限り上水道への加入をお願い致します。

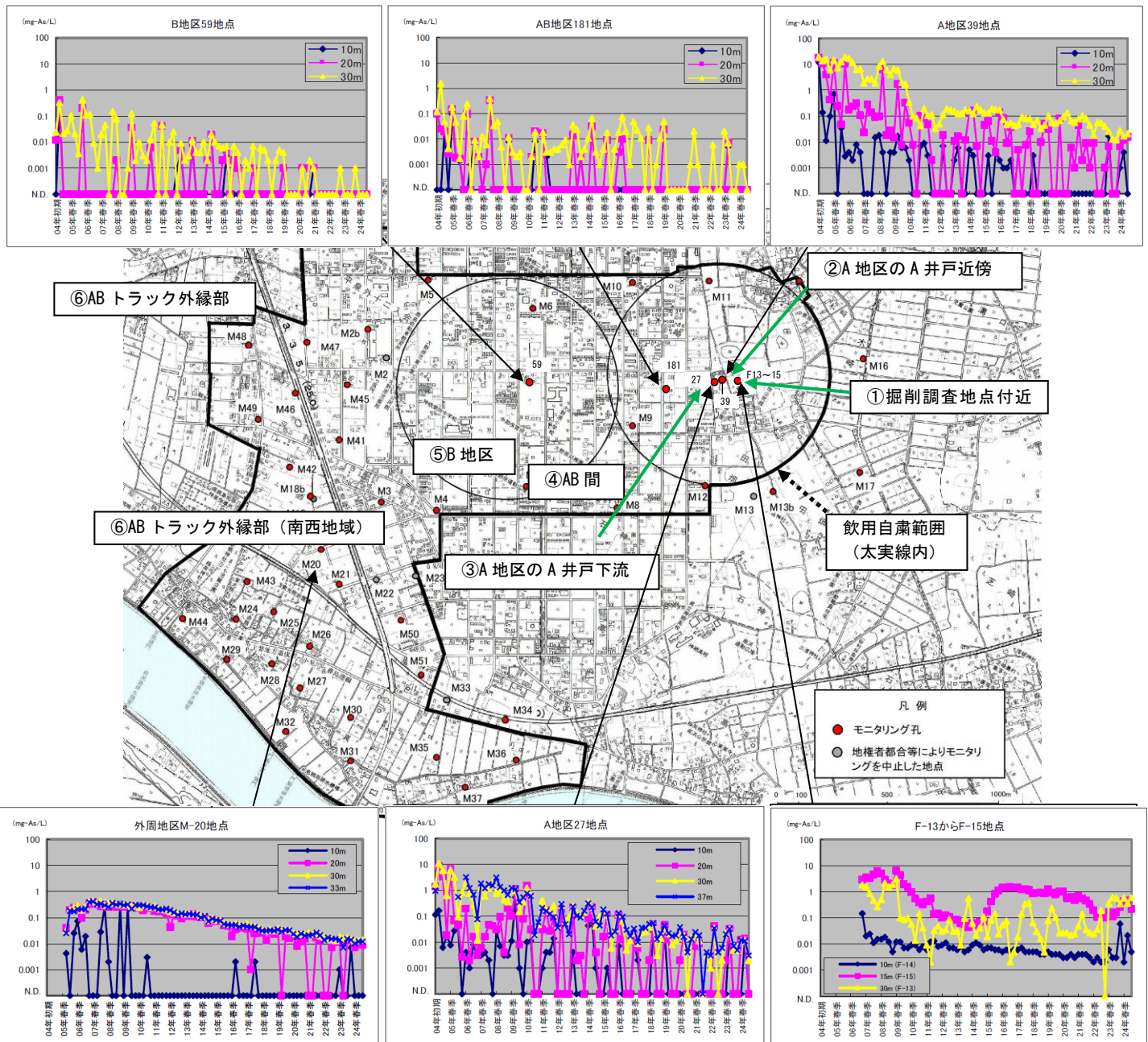
◇地下水モニタリングの結果について◇

令和6年秋季までの地下水モニタリング結果につきましては、裏面をご覧ください。濃度変動が大きい地点もありますが、概ね横ばいか低下傾向にあります。

《問合せ先》

○井戸水の飲用について	茨城県潮来保健所	TEL：0299-66-2114
	茨城県水政課	TEL：029-301-3431
○水質検査について	神栖市環境課	TEL：0299-90-1146
○上水道への加入について	神栖市水道課	TEL：0299-90-1164
○地下水調査について	環境省環境リスク評価室	TEL：03-5521-8262

飲用自肅範囲における有機ヒ素化合物濃度変化（平成16年春～令和6年秋）



【②A地区のA井戸近傍、及び、③A地区のA井戸下流】：全体的に濃度低下傾向にある。

【④AB間、及び、⑤B地区】：深度30mを主体にした低濃度の汚染である。

【⑥ABトラック外縁部、及び、ABトラック外縁部（南西地域）】：

ABトラック南西地域のみで有機ヒ素化合物が検出されており、濃度は低下傾向にある。

※環境省のモニタリングデータをもとに、茨城県が作成。各地区ごとに、有機ヒ素化合物濃度の高い地点を示しています。

※詳しい結果は環境省ホームページ「国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会資料」

をご覧ください。http://www.env.go.jp/chemi/gas_inform/sonota_singi/sonota01.html